

みんなでつくりよう消費者市民社会

～私たちの消費行動が社会を変える～

買い物をする時、あなたは何を基準に選んでいますか？
 買い物はお金による「投票」です！
 商品やサービスを選択するということは、
 それを提供する事業者を選ぶということです。



私たち消費者が公正な取引を行うために努力する事業者の物やサービスを選ぶことで…

- 努力する事業者が支持され、不正な事業者は淘汰される
- 社会全体のみんなが安全安心に暮らせる社会になる
- 社会や環境がよくなるように考えながらお金を使うことによって、消費者市民社会が実現（形成）される

さてあなたはどうか？ **消費者市民行動力チェック**

①環境に配慮したライフスタイルを実現する	必要なものを必要な分だけ使用する	
	使わない部屋の電気はこまめに消す	
	ごみをへらす努力をする	
	エコバックを利用する	
②環境・人・社会にやさしい商品を購入する	環境にやさしい商品を選ぶ 〈エコマーク商品・リサイクル・リユース商品など〉	
	フェアトレード商品を選ぶ	
	使い捨てではなく、長く使える商品を選ぶ	
	寄付つき商品を選ぶ	
③地域活動に参画する	消費者へ適切な説明がないもの、安全性が十分に確認できない商品を提供している事業者の商品を選ばない	
	高齢者などの見守り活動を行う	
	消費者被害を防止するための啓発活動に参加する	
④寄付や社会に意味のある投資をする	環境保全、まちづくり、子育て支援、防災・防犯などの市民活動に参加する	
	応援したい団体や活動に対して、直接経済的な支援を行う	
	企業への株式投資にあたり、その企業の財務状況はもとより、環境対応や社会貢献活動等も評価して投資先を決めている	



【配慮の対象と具体例】

- 人** 障がい者支援につながる商品
- 社会** フェアトレード商品
※フェアトレード（Fair Trade：公平貿易）とは、発展途上国で作られた作物や製品を適正な価格で継続的に取引することによって、生産者の持続的な生活向上を支える仕組み
- 環境** エコ商品、リサイクル製品、資源保護等に関する認証がある商品
- 地域** 地産地消、被災地産品



【チェックポイントの解説】

- ①環境に配慮したライフスタイルを実践する。**
 本当に必要なものかどうかをよく考えて無駄な買い物や買い過ぎを控える
 エネルギーや水の使い過ぎに注意するなど日ごろのライフスタイルを見直し、環境にやさしい行動をとることが大切です、資源の有効活用につながります。
- ②環境・人・社会にやさしい商品を購入する。**
 原材料が環境にやさしいかどうか、生産や廃棄の際に大量の廃棄物が出ないかなど、環境や人・社会にやさしい商品やサービスを選択することが大切です。
- ③地域活動に参画する。**
 地域の人々と日常的に関わりをもつことが、高齢者の消費者トラブル防止にもつながります。常に最新の消費生活情報を入手し、必要な情報を必要な人に届ける役割も必要です。
- ④寄付や社会的に意味のある投資をする。**
 東日本大震災をきっかけに寄付という行動が身近なものになりつつある中、自分のお金がどんなことに使われているのかを理解したうえで寄付をしたり、応援する団体や企業などの社会貢献度を把握した上で投資活動に取り組んだりすることにより、消費者市民社会の形成に貢献することができます。

【チェック項目を実践することでどうなりますか】

- 寄付つき商品やフェアトレード商品を購入する
 ⇒応援を求めている内外の人々とつながることができます。
 社会に貢献できることで、私たちの暮らしが豊かになります。
- 安全で環境にやさしい商品を見極める目が育つ
 ⇒商品やサービスを厳しくチェックする習慣が身につきます。
 危険な商品や悪質商法から身を守ることができるようになります。
- 消費者の事業者選択により、社会貢献型の経営や商品開発に取り組む企業が増える
 ⇒消費者主導による市場の形成が実現します。

